

岩美町林道施設長寿命化計画(個別施設計画)

1. 基本的事項

岩美町が管理する林道施設のうち、長寿命化計画の対象とする橋梁は5橋である。このうち、1橋は供用から40年以上経過、2橋は30年以上経過しており、老朽化が進行している。

今後橋梁の維持管理・更新費の増大が懸念されることから、可能な限りコストの縮減を図りつつ、インフラ機能の維持・確保を効率的に実施していくことが必要である。

本計画では早期段階で予防的な修繕等を実施する予防保全型維持管理の考え方を導入し、施設回復等を図ることとし、定期点検等による施設の現状を把握の上、個別の施設毎に長寿命化対策を策定するものである。

2. 対象施設

本計画の対象とする施設(橋梁)は、別紙一覧表のとおりである。

橋梁(4m以上15m未満)	5 橋
橋梁(15m以上)	橋
トンネル	本
計	5

3. 計画期間

本計画における施設毎の計画期間は、別紙のとおりである。

4. 施設の優先度

本計画における施設毎の優先度は、別紙のとおりである。

5. 施設の状態等

本計画の策定に当たって実施した点検・診断により把握された(または本計画の策定時点で把握されている)施設毎の状態については、別紙のとおりである。

6. 対策内容と実施時期

上記「施設の優先度」及び「施設の状態等」を踏まえ、施設毎に講じる対策の内容及び実施の時期について、別紙のとおり計画する。

7. 対策費用

個別施設毎の対策費用の概算については、別紙のとおりである。

なお、この金額は計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や社会情勢の変化等により、金額に変動が生じる場合がある。

8. その他

(林道施設の長寿命化対策に関して参考とすべき基準等)

林道橋定期点検マニュアル(簡易版)(平成30年3月)

鳥取県道路橋りょう定期点検マニュアル(平成31年4月)

道路橋定期点検要領(平成31年2月)

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.2.1

個別施設整理番号	1	林道台帳整理番号		施設管理者	岩美町
路線名	田河内蒲生線			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	無名橋1			建設年度	M33
施設の所在地	岩美町蒲生			起点からの距離	14.7km
建設年数	供用年数	種別	PC橋	型式	プレストレストコンクリート橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.9m (10.9 m)			
		幅員(車道幅員)	6.6m (m)			
	施設の構造等	上部工型式	PC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	不明		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	逆T式		
	橋脚工型式		不明			
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	9.6km				
施設の目的 利用実態等	当該林道の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在しており、伐採木の搬出等に利用されている。また、災害時の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道として地域住民の利用もみられる。					

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年12月10日		
	調査結果	主桁間詰部に漏水・遊離石灰が見られるが軽微であり、道路橋の機能に支障は生じていない。			
	健全性の診断結果	I 健全	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因				

長寿命化計画の内容	計画期間	R2 年度 ~ R12 年度			
	内容	該当なし			
	実施予定時期	大きな損傷はないため定期点検を実施し経過を確認する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 大きな損傷はないため優先度は低とした。		
	対策費用(概算)	該当なし			
管理方法	①5年に一回の定期点検を行う。②排水施設の清掃等維持管理を適切に行う。				

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	備考
対策費用(千円)	500					500					※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容	定期点検					定期点検					

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.2.1

個別施設整理番号	2	林道台帳整理番号		施設管理者	岩美町	
路線名	田河内蒲生線			林道種類及び区分	自動車道1級	
橋梁名	向峠橋			建設年度	M33	
施設の所在地	岩美町田河内			起点からの距離		
建設年数		供用年数		種別	PC橋	
道路橋示方書	不明		橋格(設計荷重)	不明	型式	プレストレストコンクリート橋
				橋下条件	二級河川	

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.7m (8.7 m)			
		幅員(車道幅員)	7.0m (m)			
	施設の構造等	上部工型式	PC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	不明		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	逆T式		
			橋脚工型式	不明		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	3.5km				
施設の目的利用実態等	当該林道周辺には人家15戸の地区があり生活道として利用されている。					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年12月10日		
	調査結果	A1橋台堅壁に鉛直方向のひびわれ(W=0.6mm)が見られるが局所的であり、道路橋の機能に支障は生じていない。			
	健全性の診断結果	I 健全	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因				

長寿命化計画の内容	計画期間	R2 年度 ~ R12 年度			
	内容	該当なし			
	実施予定時期	大きな損傷はないため定期点検を実施し経過を確認する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 大きな損傷はないため優先度は低とした。		
	対策費用(概算)	該当なし			
管理方法	①5年に一回の定期点検を行う。②排水施設の清掃等維持管理を適切に行う。				

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	備考
対策費用(千円)	500					500					※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容	定期点検					定期点検					

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.2.1

個別施設整理番号	3	林道台帳整理番号	2	施設管理者	岩美町	
路線名	本谷線			林道種類及び区分	自動車道2級	
橋梁名	無名橋2			建設年度	S54	
施設の所在地	岩美町長谷			起点からの距離	1.6km	
建設年数	1979	供用年数	41	種別	PC橋	
道路橋示方書	不明		橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川
				型式	プレストレストコンクリート橋	

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.7m (5.7 m)			
		幅員(車道幅員)	4.9m (m)			
	施設の構造等	上部工型式	PC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	不明		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	その他		
	橋脚工型式		不明			
	基礎型式		その他			
	海岸からの距離	6.4km				
施設の目的 利用実態等	当該林道の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在しており、伐採木の搬出等に利用されている。また、災害時の迂回路や近隣地域を結ぶ生活道として地域住民の利用もみられる。					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年12月10日		
	調査結果	主桁に錆汁含む遊離石灰、橋台壁に水平方向のひびわれ(最大幅5.0mm)、基礎部の洗堀等広範囲に著しい損傷が見られる。早期に措置を講ずることが望ましい。			
	健全性の 診断結果	Ⅲ 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態		
	劣化原因	②アルカリ骨材反応⑥経年劣化⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R2 年度 ~ R12 年度			
	内容	①ひびわれ補修工②補強工			
	実施予定時期	早期に対策を実施することが望ましい。他橋梁の状況を考慮し、R4年度実施する。			
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 交通量自体は少ないが、損傷状況を考慮し、優先度高とした。		
	対策費用 (概算)	①ひびわれ補修工			
管理方法	①長寿命化対策として桁のひびわれ補修工を早期に行う。②5年に1回の定期点検を行う。③排水施設の清掃等維持管理を適切に行う。				

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	備考
対策費用(千円)	500		5,000	10,000		500					※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容	定期点検		測量設計	補修工事		定期点検					

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.2.1

個別施設整理番号	4	林道台帳整理番号	2	施設管理者	岩美町	
路線名	恩志山線			林道種類及び区分	自動車道3級	
橋梁名	無名橋3			建設年度	S64	
施設の所在地	岩美町恩志			起点からの距離	0.0km	
建設年数	1989	供用年数	31	種別	RC橋	
道路橋示方書	不明		橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川・水路
				型式	コンクリート橋	

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.1m (6.1 m)		
		幅員(車道幅員)	3.8m (m)		
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋		
			鋼製(使用鋼材)	無	
			支承型式	不明	
			塗装使用の有無	無	
		落橋防止の有無	無		
		下部工型式	橋台工型式	その他	
	橋脚工型式		不明		
	基礎型式		不明		
	海岸からの距離	4.5km			
施設の目的 利用実態等	当該林道の利用区域には、森林資源が多く存在しており、この森林の適正な整備・管理、木材搬出等を進める上で必要な幹線として利用されている。				

施設の状態等の概要	点検診断日	R2	令和2年12月10日	
	調査結果	ガードレールのビームを取り付けるボルトが1本脱落している。予防措置として、対策することが望ましい。		
	健全性の診断結果	II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	
	劣化原因	⑦その他		

長寿命化計画の内容	計画期間	R2 年度 ~ R12 年度		
	内容	ガードレール補修工		
	実施予定時期	ガードレールに変形、腐食等が見られるが、軽微なため、R3年修繕費で対応する。		
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 措置を講ずることが望ましい部位はあるが、通行に支障が出るような大きな損傷はないため、優先度は中とした。	
	対策費用(概算)	ガードレール補修工		
管理方法	①ガードレール補修工を早期に行う。②5年に1回の定期点検を行う。③排水施設の清掃等維持管理を適切に行う。			

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	備考
対策費用(千円)	500	200				500					※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容	定期点検	ガードレール補修				定期点検					

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.2.1

個別施設整理番号	5	林道台帳整理番号	2	施設管理者	岩美町	
路線名	恩志山線			林道種類及び区分	自動車道3級	
橋梁名	無名橋4			建設年度	S64	
施設の所在地	岩美町恩志			起点からの距離	0.4km	
建設年数	1989	供用年数	31	種別	RC橋	
道路橋示方書	不明		橋格(設計荷重)	不明	型式	コンクリート橋
				橋下条件	河川・水路	

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.0m (4.0 m)			
		幅員(車道幅員)	3.2m (m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	不明		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	その他		
	橋脚工型式		不明			
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	4.6km				
施設の目的 利用実態等	当該林道の利用区域には、森林資源が多く存在しており、この森林の適正な整備・管理、木材搬出等を進める上で必要な幹線として利用されている。					

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2	令和2年12月10日		
	調査結果	A1橋台胸壁に欠損、伸縮部からの漏水が見られるが、軽微なものなので、道路橋の機能に支障は生じていない。			
	健全性の 診断結果	I 健全	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因				

長寿命化計画の内容	計画期間	R2 年度 ~ R12 年度			
	内容	該当なし			
	実施予定時期	大きな損傷はないため定期点検を実施し経過を確認する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 大きな損傷はないため優先度は低とした。		
	対策費用 (概算)	該当なし			
管理方法	①5年に一回の定期点検を行う。②排水施設の清掃等維持管理を適切に行う。				

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	備考
対策費用(千円)	500					500					※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容	定期点検					定期点検					

備考	
----	--